

2024 年
5月13日

左京社保協ニュース

「マイナ保険証の狙いとは？」学習会に 52 人！

5/11（土）「マイナ保険証の狙いとは？」学習会を実施しました。会場には 43（zoom 参加 9 人）の方が来場されました。京都社保協の中村暁さんから「保険証廃止と医療DXを考える」と題して講演をしていただきました。～以下抜粋してご紹介します～

「国民総背番号カード」？国民管理と個人情報利用

「保険証廃止はマイナンバーカード普及のために政府財界そしてデジタル庁主導ですすめられている。悲願の国民総背番号制をマイナンバー法で達成。個人番号が国民全員に割り当てられた」「国が個人情報を一元管理できるようになる。それを経済成長の道具にする事ができる」

国民皆保険制度を守り受療権を保障させること！

「保険証廃止は社会保障、国民皆保険体制を後退させること。申請しないともらえない資格確認書では保険証の無条件交付ではなくなり国民皆保険制度は後退させられてしまう。国保では短期保険証も発行されなくなる恐れがある」「保険証廃止をストップさせる運動と万一廃止されても医療を受ける権利を保障させる運動が大事」と語られていました。

「国の狙いがわかりました！」

参加者の方からは、「恐ろしい国の狙いが良くわかりました」「今でもスマホやネットで個人情報を使うことに同意しなければ何も使えない仕組み。個人情報を守ることが大切」

「医療を受ける権利、人権を守る運動として新婦人では、500 筆以上の署名を集めた」「高齢者等の社会的弱者が取り残されないようにしていく必要がある」「保険証や資格書もなく 10 割負担となったら医療機関は診てくれるのか？」「今後も学習や署名を広げていきたい」などなどたくさんのご意見ご質問が出されました。今後の運動について山口社保協委員から引き続きの学習、宣伝行動や署名を呼びかけられ閉会となりました。



「保険証廃止反対学習集会」5/30（木）18：30～

ラボール京都 4F 第 7 会議室『保険証廃止をめぐる現段階の
情勢とわたしたちの課題』講師＝中村暁さん 参加費＝無料